

第44回

【テーマ別】

市民と市長のタウンミーティング 報告書



○期 日 平成24年6月29日

○会 場 吉祥寺シアターけいこ場

武蔵野市

ま え が き

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」「双方向」で、地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、平成18年度から「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。

このタウンミーティングには、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティセンターを会場として、市とコミュニティ協議会が企画・運営方法を協議し、協働して実施する「地域別タウンミーティング」、テーマを設定して、そのテーマの関連団体にご協力をいただきながら実施する「テーマ別タウンミーティング」、そしてテーマを決めないで実施する「青空タウンミーティング」がございます。

テーマ別では、「商店街の振興」や「災害に強いまちづくり」「地域で支えあう福祉のまちづくり」「地域で育てよう！武蔵野の子ども」「学生と語る武蔵境のまちづくり」「期待される団塊・シニア世代の活躍」などを開催しています。

今回は、「学生と語る武蔵境のまちづくり」をテーマにして開催した第42回に引き続き、成蹊大学の学生の皆さんにご協力をいただき、『『住みたいまちNO.1吉祥寺』—学生のあなたは住みたいですか？—』をテーマに「第44回市民と市長のタウンミーティング」を開催しましたので、その結果を報告いたします。

今後も、市内の様々な場所で、タウンミーティングを開催していくことにより、さらに多くの意見交換を行ってまいります。

武蔵野市長

邑上守正

概 要

1. 日 時 平成24年6月29日（金）
午後6時30分～8時30分
2. 場 所 吉祥寺シアター 3階 けいこ場
3. 主 催 武蔵野市
4. 参加者数 23人(学生16人、その他7人)
5. 主催側出席者 市 長 邑上 守正
吉祥寺まちづくり事務所長 大塚 省人
6. 司 会 成蹊大学 3年 矢野 明日香
企画政策室市民協働担当部長 大杉 由加利
7. テ ー マ 「『住みたいまちNO.1吉祥寺』
ー学生のあなたは住みたいですか？ー」

目 次

1. 発言の要旨.....	1
(1) 当日の意見交換（要旨）	
グループワークで挙げられたキーワード.....	1
1. 吉祥寺に住みたい理由と住みたくない理由について.....	2
2. 自転車のマナー、駐輪場について.....	3
3. 保育園待機児童解消と男女共同参画について.....	6
4. 若い世代への経済的支援について.....	7
5. 有料ごみ袋について.....	9
6. 生ごみの処理について.....	9
7. ごみの個別収集について.....	10
8. 地域猫について.....	11
9. 吉祥寺の環境浄化について.....	12
10. 行政区境のまちづくりについて.....	12
11. 緊急車両の通行について.....	13
12. サブカルチャーでの地域活性化について.....	14
13. 0 1 2 3施設のイベントについて.....	14
14. 市のイベントの広報手段について.....	15
15. 学生が吉祥寺に求めるものについて.....	16
16. ハーモニカ横丁の耐震・防火対策について.....	16
17. 夜のまちの治安について.....	17
18. 地域のつながりについて.....	17
(2) 終わりに.....	20
2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針.....	21
3. アンケートでいただいた感想	28

— 付属資料 —

第44回「市民と市長のタウンミーティング」ちらし

1. 発言の要旨

(1) 当日の意見交換（要旨）

テーマ『住みたいまちNO.1吉祥寺』—学生のあなたは住みたいですか？—

開始冒頭30分は、テーマについて、学生のみでのグループワークを行った。

【グループワークで挙げられたキーワード】

良いところ

「交通の便が良い」「サブカルの街」「個性的なお店が多い」「おしゃれな街」「買い物が吉祥寺で済む、何でも揃う」「緑が多い」「自然がある、井の頭公園」「街がキレイ」「チェーンじゃない飲食店が沢山あって面白い」「公共施設が使いやすい」「高齢者がイキイキしている」「交通の便がとても良い（新宿、渋谷に1本）」「個性的な店や美術館がたくさんある」「お店の人が親しみやすい」「ほどよくまとまっている」「おもしろい店がたくさんある」「駅と住宅と公園、商業地域が近い」「コミュニティが強い！！」「お祭りがいっぱい」



悪いところ

「井の頭線の公園側にも出入り口を、正直JRも改札が相当狭いので拡張を」「公園口前の道路の小田急バスの侵入が相当迷惑」「西武バスの北方向行きの八幡前までの通行路の統一を」「無料駐輪場の拡充を」「自転車の交通マナー」「街がゴミゴミしている」「駐輪場が少ない」「休日は人が多い」「道路が狭い」「違法駐輪が多い」「トラックの広告車出てる」「風俗店がちょっと…」「ヨドバシ裏のお店が…」「物価が高い」「イメージで先行している？」「自転車がなくて歩行者が車道においやられる」「放置自転車が多い」「家賃が高い」「ゴミぶくろを買わなきゃいけないのがいやだ」「お店の移り変わりが激しい」「裏道の治安が悪い」「物価が高い？」「夜スーツの人(お兄さん)多い」「車椅子で利用するには不便が生じる街」「西武線との連絡が悪い」



1. 吉祥寺に住みたい理由と住みたくない理由について

【司会】

まず、皆さん、今日のテーマ『住みたいまちNO.1吉祥寺』—学生のあなたは住みたいですか？—について、お手元にある「イエス・ノー」ボードを挙げてください。今、住みたい人は、イエスを。住みたくないと思う人は素直にノーを。まだ決められないという人は半分にして挙げてみてください。(参加者ボードを挙げる。)

意外に割れましたね。イエスが5、ノーが7、決められない方が2、ですね。その理由を言いたいという方いらっしゃいますか。



【学生】

自分は吉祥寺ではないんですけども、武蔵野市の関前に生まれてからずっと住んでいます。例えば何か買い物したいなというときとかは、新宿とか渋谷とかに出なくても、吉祥寺には、ちょっとした時間で来れて何でもそろってしまうのが、すごくいいところの1つです。

もう1つ挙げるとしたら、そういう商店だけじゃなくて公園とか、井の頭公園もそうですけど、中道通りの奥のほうの紀ノ国屋の近くにも公園があったりですとか、ちょっと休憩したいなというときに休憩できるような場所があるのですごくいいなと思っています。

【司会】

ありがとうございます。逆にノーだった方、いかがですか。

【学生】

私は、今、実家から吉祥寺に通っているんですが、やっぱりちょっと人が多いというのが難点かなと思っています。吉祥寺はすごくいい町だから人が多くなると思うんですけど、でもそうやって何か混み合っていると、今はいいお店がたくさんあって楽しいかもしれないんですが、将来子どもと一緒に歩くときには、きっと大変な気がします。将来のことを考えると不安なので、住むのは難しいかなと思い、ノーにしました。

【司会】

吉祥寺は人が多いと思う人はほかにもいらっしゃいますか。(全員挙手。)

【市長】

私も人は多いと思っていますが、いっぱい来てくれるのは嬉しいじゃないですか。今の回答もなるほどと思いましたけれども、多分、「吉祥寺」の範囲って皆さん、それぞれ違うのかなと思います。吉祥寺の繁華街を抜けると周りに住宅地が広がっているんですね。子育てについても、駅から歩いていける範囲に住宅街が広がっているし、学校だってきちんとあるし、なかなか便利じゃないかなと思っています。

2. 自転車のマナー、駐輪場について

【学 生】

普段、吉祥寺駅から大学に通う道ばかり歩いているので、サンロードとか商店街に人が多く、あと自転車が多いというイメージが強くて、住むには暮らしぶらいかなと感じています。

【学 生】

私は、人が多いことはやはり町としてすごくいいことだと思います。それによって自転車が多くなったりとか、ごみが増えたりとか治安が悪くなることは、ある程度は目をつぶらなければいけない問題なのかなって思います。

【司 会】

グループワークでどこかの班でも自転車の話が出ていましたが、自転車が悪い点として挙げていた班の方で何か意見はありますか。

【学 生】

吉祥寺というか武蔵野市では、皆さん自転車で移動されていて、環境に配慮している市民が多いのかなと思ったりもしますが、自転車が少し多過ぎて、その自転車の交通マナーが悪く、この前も自転車にひかれそうになりました。そういう町に住むのは、歩いている人にとっては怖いかなと思ってノーを挙げました。道も少し狭いかなとも思います。

【市 長】

道は狭いですね。自転車利用の方が大勢いますので、例えば自転車の専用レーンができないかというようなご意見があります。しかし、道路自体が狭く、自転車の専用レーンは難しい場合が多いので、乗る以上、マナーアップが大切じゃないかなと考えています。

市では、3年前から、積極的に自転車安全利用講習会を実施していて、今度、新しい許可証を更新します。3年間で1万人以上の方に受講いただいています。また、子どもたち向けには、小学生対象の講座も行っているし、中学生にはスタントマンをお願いして、車が走ってきて自転車が飛ばされるようなシーンも見てもらって、安全運転をしようと呼びかけています。

ただ、おかげさまで、このところ自転車の事故は減ってきています。武蔵野市では交通事故の件数の半分が自転車事故なんですね。何とかそれを減らそうと思って取り組んできて、こここのところ随分と減ってきているので、一定程度の効果はあるかなと思っています。

【学 生】

今、市長がおっしゃった安全講習会は自分も受けましたが、高齢の方から自分のような学生まで幅広い人が受けていて、とても意味があるし内容自体も充実していたので、いいなと思いました。

【市 長】

ありがとうございます。

【司 会】

逆に、自転車が路上駐車している問題を、よく耳にするんですけど、駐輪場について皆さんいかがですか。



▲自転車安全利用講習会

【学 生】

僕は住みたい町かどうかと言われたらイエスにしたんですが、やはり駐輪場が少ないと思っています。4年間通っている間にも新しい駐輪場ができては知っていますが、それでも休日になると駐輪場の前に行列ができて、駐輪場を探す羽目になって町の中をぐるぐる行ってしまうこともある。放置自転車もずっと残っていて、監視員の方がいつもいつも動いている。駐輪場を増やすか、何か認知度を高める工夫をできないかなと思います。

【市 長】

皆さんが自転車を利用されるときに、停める場所がないとよく言われます。イタチごっこのように、自転車の駐輪場を増やしても、さらにそれで利用される方が増える状況が続いています。

かつては、武蔵野市の放置自転車数が、首都圏でワーストワンということもあって、一生懸命駐輪場をつくってきました。私も市長になって7年目ですけれども、いろいろなところに駐輪場をつくってきました。

例えば、以前はヨドバシの前の歩道に臨時的自転車駐輪場をつくっていましたが、そうするとますます歩行者が歩く空間が少なくなってくるし、どうにかならないかなと思っていたところ、ラオックスが入っていたビルの持ち主の方が、空いたところを駐輪場に使っていいですよということでお借りできました。そこで1,000台ぐらい収容できたので、歩道の臨時駐輪場を撤去できたんです。そのようにして、いろいろなところで、今、駐輪場をつくっています。

ただ、私有地を借りてつくっているケースが多いので、そうすると不安定なんですね。この土地、ビルをつくるから返してと言われてしまうと、次の駐輪場の場所を探さないといけないので、ほかのところをまた借りてつくったりするのですが、なかなか全体の数が増えていかない。吉祥寺は今、1万2,000台ぐらい確保しているんですけれども、基本的にはもう少しあれば何とか回るのでないかと思います。

もう1つ、自転車問題について、主要なところだけお話しすると、自転車を使う方で一番多いのは鉄道利用者ですね。通勤通学で皆さんも自宅から駅まで乗るかもしれない。ところが、鉄道事業者は駐輪場をつくってくれないので、苦労しているところです。

法律では、例えば、百貨店だとかそういうところの大規模集客施設については、駐輪場の附置義務を課すことができるんですね。

だから武蔵野市も自転車条例で、例えば大規模百貨店については、床面積何平米当たり何台というように確保してくれているのだけれども、鉄道事業者については、そういう責任、責務がないんです。

そこで、今、自転車法を改正してもらう運動をしています。国土交通大臣に毎年要望しているのだけれども、なかなか動きが鈍いですね。そんな問題を抱えています。

それでも、通勤通学の方用には大体確保できているのですが、今は、午後からの買い物客の自転車があふれてしまっています。それと予備校の子どもたちの自転車です。本来ならば予備校にも、子どもたちの駐輪場を確保してくださいと言いたいところですが、現状では難しい状況です。

【学 生】

駐輪場に関して、自分は別の区から吉祥寺に通っているのですが、その場合、鉄道を使わないで、自宅から自転車でそのまま大学に来る感じです。たまに吉祥寺で何かあるとかちょっと用事

があるとか、一時的な駐輪場の利用があります。それと、地元住民の方が駅まで利用してその帰りにまた乗っていくという利用との、差別化を図るべきじゃないかなと思います。

例えば予備校だったり、飲み会でちょっと町に居たいなだとか、そういうような場合は、できれば無料で停めたいというのが本音だと思う。やっぱり無料で止められないから放置してしまうというのがあると思うので、ある程度の規模の駐輪場で、例えば6時間までだったら無料とか、そういうような時間制限のある利用はあってもいいのかなと思います。

例えばヨドバシカメラの脇の駐輪場は2時間無料じゃないですか。でも2時間は案外すぐに過ぎてしまいますし、予備校だったら1つの講義を受けただけで2時間になってしまう。

ですから、6時間は一例ですけど、防犯とかセキュリティーを確保させた一時利用と、通勤通学の駅利用の方のような利用の差別化は間違いなく必要だと思います。

【市長】

自転車の需要は確実に多いので、今、駐輪場が必ずしも十分ではないという状況も認識しています。では、その自転車の駐輪場はだれが整備しないといけないのか。例えばお店をやっていて、自分のお店に買い物に来てくれるお客さんの駐輪場はだれが用意しなければいけないのか。そういうことはどう考えますか。

【学生】

法がいろいろ決められる前に、行政側としても何とかしようとは多少は考えないといけないと思います。駐輪場でしたら、例えば江戸川区の西葛西駅、地下鉄東西線のところの駅前の地下空間に、広い地下駐輪場を整備したら、放置自転車が劇的に減った事例もある。

吉祥寺の町は、中央線は高架ですし、井の頭線も高架で中央線にT字型につながる系統になっていますから、ビルとかの地下は難しくても、ロータリーの地下は何もないと思う。

そういった限られた空間だとしても、地下空間だとか、あと、吉祥寺大通りの片側2車線の道路の真ん中の縁石の部分だけでも取っ払って、車道の部分を詰めて歩道側を広くすれば、駐輪場を整備する場所はできると思います。

【市長】

地下利用は1つの提案だと思います。吉祥寺のロータリーは地下利用も検討していますが、あそこには大型の貯留槽があるので、ちょっと使いづらいという側面もあります。

ただ、例えば道路などの地下に駐輪場をつくると、自転車1台当たり200万だか300万ぐらいコストがかかるんです。そうするとそれを税金を使ってつくるべきなのかどうか。

さっき言ったとおり、買い物客用だったら、買い物されるお店の方々がそういうのをビルの中につくるべきじゃないかという議論もあるんですね。それに税金を使うのか、商業者が整備するのか、という議論があるので、その辺は何かご意見はないですか。

【学生】

そのための自転車法の改正なんだろうとは思いますが。そもそも吉祥寺の町そのものに関して、中道通りが三鷹方向へ向かって一方通行、大正通りが逆方向へ一方通行、ですから、車がそうやって干渉することは、狭い道ながらもそんなにはないと思います。吉祥寺大通りと吉祥寺通りと五日市街道、中央線に挟まれたあの空間が、歩行者が多いようなエリアで、自動車と歩行者の分離はしっかりできていると思うんです。

それを目指してまちづくりをやって、店とかの周回も目的とした町内活性化などのまちづくりを図られたというのは評価できるんですけど、そこに自転車という概念が入っていなかったんじゃないかなと思っています。ですから、駐輪場とかも何か後づけで整備されたような感じがしたりだとか、放置自転車に対する策がはじめからあったようには思えないです。

【市長】

そのとおりですね。日本の都市計画には前提として自転車がありません。歩行者と車ですね。ただ、大きくて言うと自転車は車に入りますが、そういう意識も我々にはなかった。どちらかというと歩行系の移動手段として、自転車は極めてあいまいな扱いにされていたんですね。

【司会】

では、この自転車問題の話が終わる前に聞いてみましょう。皆さん、武蔵野市民のつもりでください。吉祥寺の町に住んでいます。地下駐輪場をつくるのに、税金でつくってもいいと思うか聞きたいと思います。市民として、町に遊びや買い物とかに来る人のために、その税金はかなりの額みたいです、使われてもいいのか。使っていないよという人はイエスで、ちょっと待つてという人はノーをお願いします。どうぞ。(イエス多数)

これが一応学生の意見です。まだ税金を払っていないので何とも言えないですが。

【市長】

多分、自転車だけ考えたら、それは税金を使ってつくったらってなるんだけど、ほかにいろいろな課題があります。保育園の待機児だとかね、そういうことも含めて、いろいろ課題があるときに、どれを優先するかでまた判断が違うかもしれないですね。

3. 保育園待機児童解消と男女共同参画について

【司会】

では、今出た待機児童について何か思うことがある人はいますか。

【学生】

待機児童の解消は、今後の人口減少社会につながっていくと考えています。人口が減少して問題になっているのは労働人口が減っていくことなので、待機児童を解消することによって、働きだせるお母さん、女性が増えていけば、労働人口の減少に対応できるんじゃないかなと思っています。

【市長】

人口問題となると、一自治体でなかなか解決できないですが、おっしゃるとおり日本全体がそういう考え方を持たないといけない。労働力人口がどんどん減少しているということは大変働き手が減ってくるということなので、この先どうなるのという課題があります。

そのためにはやはり人口が少なくなってくる分、例えば女性ももっと社会進出をして働いていただくとか、その実数を上げていかないといけないでしょうね。同時に働きやすい環境づくりでは、子育て支援や保育園の充実だとかは必要でしょう。

武蔵野市も一生懸命保育園を増やしているところです。この4、5年で、認証保育所とか認可保育園だとか、いわゆる保育園の定員を大体300人ぐらい増やしています。ところが去年と今年を比べると、今年のほうが待機児童が増えてしまった。需要が高まっているんですね。

赤ちゃんの数はどうかというと、武蔵野市では、毎年生まれる子が1,000人ぐらいです。数年前に1,000人を超えたなと思ったら去年は千百何十人というように増えているので、嬉しく思っています。ただその先どうかというと、赤ちゃんを産んでくださる世代の方の人口が極めて減ってきています。20代、30代の人口が急激に減っているということを見ると、このままだと赤ちゃんが増える要因が見つからないと思っているので、今後皆さんに期待しています。

【学 生】

例えば共働きができるような状態であれば、経済的にもゆとりが生まれてきて、2人目、3人目を考えることもできると思うのですが、働きに出るのがお父さん1人という状況で2人目の子どもを産むことは、不況の社会状況の中でやっぱり厳しいという考え方につながっていくと思います。2人目、3人目の子どもを産むことを考えたとしても、待機児童の解消とその母親世代の就労が大切になってくるだろうなと思っています。

【市 長】

おっしゃるとおりですね。でも、いろいろな考え方があって、もちろんそう言う方も多いと思います。ただその一方で、女性として生涯いろいろな仕事を頑張っていくんだという考えで働いている方もいらっしゃいますよね。

例えばこれは私事ですが、うちの妻はずっと働いています。私が市長になっても自分の好きな仕事をずっとやっています。子どもは2人で、私は3人欲しかったですが、経済的な面というよりも、彼女の仕事のいろいろな状況で3人目は難しいという話だったと思います。それはやはり、彼女の仕事に対する姿勢だったんですね。

ぜひ皆さんも、働いていただいてお子さんも育てていただいて、それは、男女共同参画と言われるけれども、男性も育児なり家事なりに参加しないと、成り立たないと思います。皆さんのように若い世代はそういうことを普通に当たり前だと思っているかもしれませんが、ぜひ、男女それぞれ役割分担があるかもしれないけれども、ともに家事と育児と頑張っていただきたいと思います。



4. 若い世代への経済的支援について

【司 会】

武蔵野市で、若い人達が子育てをしやすいための対策はありますか。武蔵野市は物価が高かったり、若い人たちが暮らして子どもを産むことを考えたら、経済的にきつくなってくるのかなと思うのですが。

【市 長】

物価というのはどこを指すのかわからないけれども、物の値段とかはそんなにほかの自治体と変わるわけがないので、唯一、高いと言えるのが家賃です。

私の仲間を見ても、カップルのとき、2人だけのときには、何とか2人とも働いて家が狭いな

がらも楽しいわけなんですね。子どもができると、やはり家の広さを求めていきます。1人だったら何とか我慢できる。2人目になります。そうすると、より広さを求めると、武蔵野市内の家賃だとなかなか住めなくなってくるんですね。同じ家賃を払ってもう少し西のほうに行けば、もう少し広い住居が求められるので、家賃問題からすると若い世代が住みづらくなっていますね。

【司会】

何か対策はありますか。

【市長】

対策は、難しいですね。よく言われるのは、じゃあ若い人に補助を出せばいいという話があります。でもそれもまた税金の使い方としてはどうでしょう。若い人も沢山います。20代、30代で何万人という人がいたとして、その人たちに家賃補助という形であげるのがいいのかどうか。そこはまた難しい問題ですね。

【学生】

私は小学校のころから吉祥寺に住んでいて、小さいころから見ていて、吉祥寺はすごく魅力的な町だと思うので、将来家庭を持つことができれば、ぜひ武蔵野市に住みたいと思っています。

しかし、今の学生の立場として住みたいかという、武蔵野市が、社会的弱者と言われる高齢者ですとか障害者の方ですとか、小さいお子さんに対するサポートが手厚く、あとコミュニティセンターや図書館といった公共施設、ムーブスなどといった制度が拡充しているのは知っていますが、今学生の立場として、ちょっとネームバリューで高くなってしまった家賃を払って、そしてほかの自治体より少しだけ高い市税を払ってまで学生の自分が住む必要があるのかなって少し思いました。ですから学生として、住むことについて何かメリットがあるのかなと、今日のこのテーマを見て自分は感じました。

【学生】

私も同じことを考えました。吉祥寺はあこがれの町であるし、いつか住みたいと思っている町



▲多くの来街者でにぎわう吉祥寺

ですが、さっきグループワークの中で、住みたい理由、住みたくない理由をそれぞれ挙げてみたときに、住みたい理由は吉祥寺の町としての楽しさみたいところが挙がって、デメリットとしては市民税だとか家賃とかという、わりとお金がかかるイメージがあって、さらに先ほど出た駐輪場の問題とか放置自転車の問題とかを考えていくと、住む場所として考えたらそんなに魅力的ではないのかもしれないと思いました。

私は吉祥寺に住んでいるわけではないので、吉祥寺の施策としてどんな補助があるのかとかサービスがあるのかはあまり知りませんが、吉祥寺の近隣の家賃の安い練馬区だとか阿佐ヶ谷だとかに住んで吉祥寺に遊びに来るといった利用方法のほうが効用が高いかなと感じました。

【司会】

私も吉祥寺に住んでいますが、家賃は実際高いなと思いながら、親に出してもらっているので何とも言えませんが、吉祥寺

に住んでいるのは、単純に大学が吉祥寺なので、通学が楽だというので住んでいるんです。あと、住んでよかったこととしては、大学が近いから友達が集まりやすいという意味での効用は考えられるんですが、私も最近、家賃が高くて実家に戻らないといけなかなと考えているんです。

【市長】

ちょっと間違った理解をいただいている方がいたので訂正しますと、家賃は高いんですけども、税金は自治体による差はないんです。税金が高いと思っている人は、それだけ収入がある人ですね。武蔵野市内には所得の多い方が沢山いらっしゃるの、その分多くの税金を払っていただいているということです。

5. 有料ごみ袋について

【学生】

武蔵野市はごみ袋が指定されていて、有料袋を買わなくてははいけませんよね。大学が吉祥寺でも、あえて武蔵関のほうに住んでいる人が結構多くて、その人に理由を聞くと、やっぱり家賃の問題とごみ袋を買わなくていいと言っていました。ひとり暮らしの学生だと、わざわざ捨てるごみ袋を買わなければいけないことと、その分別をしなきゃいけないことが面倒くさいのかなって思います。

私は横浜市に住んでいるんですけど、今までごみ袋を買うことがないので、どこかでひとり暮らしをするときに、わざわざごみ袋を買わなきゃいけないところに住みたいとは思わないなと思います。市でごみ袋を決めるなら、無料で配布してほしいと思います。

【市長】

ごみの袋が有料・無料で、ごみの出し方が違ってきませんか。そこがねらいです。どちらかという、今、多くの自治体が有料化の方向に向かっていますね。ごみ袋を売っていない自治体は、そこに税金が投入されています。その違いがあると思います。

ただ、武蔵野市は、ごみの量が市部では多いほうだったので、有料化をしてごみの量を減らしていこう、抑制、抑止策をやっていこうということで始めました。有料化にしたらごみの量はがくと減りましたので、これは一定程度の効果はあるんじゃないかなと思っています。



▲市指定有料ごみ処理袋

6. 生ごみの処理について

【司会】

生ごみだけは普通の袋ではだめですか。生ごみも燃えるごみで有料ごみなので、袋にたまってから捨てたいのですが、ひとり暮らしだと小さい袋でも1～2週間ごみがたまらなくて、夏だと生ごみに虫がわくので、普通の袋で生ごみが出せたらと思っています。

【市長】

今、生ごみもなるべく減らしていこうという活動、運動をしているんですね。どうしたら生ごみが減ると思いますか。どこかの家庭でやっていませんか。

【学生】

やっています。プランターに使っています。

【市長】

それですね。コンポスト化を推奨しています。ただ、ひとり暮らしだとコンポストをやって肥料、堆肥化をやったとしてもそれを使う道がないかもしれませんが、それでプランターで野菜づくりをすると、循環型の取り組みが、ご家庭でひとりでできてしまいます。

【学生】

その集まった肥料を、全部自宅のプランターで使うことばかりできるとも思えないので、例えば、このあたりですと練馬区の大泉の北の都民農園のセコニックだとか、そういうところに行わせるというか、そういうようなシステムを整備することはできませんか。

【市長】

今、一部そういうのもやっています。生ごみの堆肥の途中のものを業者さんに持って行ってもらって、ちゃんとした肥料にして、それでまた戻してもらって、市内の農家さんが使っているという取り組みは一部やっています。

堆肥をつくっても、それを使う道がなかなかないので、それをどうやって循環するか。確かにこれは仕組みをつくらないと、堆肥・堆肥となかなか言えないですね。



▲コンポスター

7. ごみの個別収集について

【学生】

さっきのごみ問題について1つお聞きします。私は埼玉の熊谷から吉祥寺まで通っていますが、私の市では、ごみは地域ごとに一定の場所に出しているんですが、武蔵野市は家の前に緑の袋を出している。1か所にまとめるのと自宅前出にすのは、どういう理由からの違いでしょうか。

【市長】

その1つの理由は、ある街区ごとにまとめて、ごみステーションに集まったものを収集するのは、収集するほうは便利なんですね。ところが、どうしてもやはり自分のうちの前にはあまり置いてほしくないのがあって、その置き場所をどこにするかでいろいろ議論が出るんですね。そういう課題もあって、個別収集で車が動きながら収集しています。

家の前に出しますから、ごみステーションまで持っていかなくてもいい利便性がありますが、逆に、清掃を順番にやったりなど、ごみの収集のときにコミュニケーション、ごみニュケーションはなくなったよなんて、そんな話も聞かされたりもします。

【学生】

ごみ収集車が回収場所を指定すれば、回る数や移動距離が減ると思うので、エコ的な考えでい

けばどっちのほうがいいのかなと思っています。

【市長】

一度全部に家の前に置いて収集する方式に変えたので、戻すのは難しいかもしれないですね。

【学生】

朝まちを歩いていてごみ袋が家の前にいっぱいあるのが、きれいじゃないなと思っていた。ごみ収集所だったら収集所だと思うけれど、吉祥寺の町中を、朝、ごみをいっぱい見ながら歩くのは少し嫌だなと思っています。

【学生】

僕が考えるには、ごみを1か所に集めると、燃えるごみの日なのに燃えないごみも出しちゃったりとか、ルールを守らない人も多分いるけど、各家庭の前に出すと、自己責任が明確ですよ。そういうメリットがあるんじゃないかなと思っています。

【学生】

それに関して、燃えるごみの日なんかは、生ごみなんかがあると、ごみが多くあるところにカラスが集中するじゃないですか。それを分散化させることによって、カラスの一極集中とかを減らす目的もあるんじゃないかなと思います。

吉祥寺の町を見ていて、実際カラスは少ないですよ。例えば、渋谷区の明治神宮なんかよくカラスの寝床とかになっていますが、この近所だったら井の頭公園なんかそうやってカラスのねぐらになりそうなのに、吉祥寺の町にはカラスがほとんどいないので、そうやってごみ収集のやり方の工夫でカラスが集まりにくいのではないかと思います。

【市長】

そういえば、吉祥寺の中ってあまりカラスを見かけないですね。でも、井の頭公園にはカラスが結構いますよ。

【学生】

カラスの行動範囲は広いですから、中央線の線路なんてすぐ超えて来ると思います。なのに吉祥寺の町中に来ないのはごみを分散していることもあると思います。

8. 地域猫について

【学生】

猫もあまり吉祥寺で見かけない気がします。海のそばの町に地域猫がいっぱいいるのは結構よく見るんですけど。私の住んでいる練馬区でも猫はわりと見かけます。多いときには7匹いたのを見てびっくりしたことがあります。

【学生】

僕の住んでいる吉祥寺の住宅地のほうは、猫が結構います。飼い猫もいますし、野良猫も時々来たりしますね。でも、全然迷惑じゃないです。自分は嬉しく思っています。

【市長】

地域で問題になるのは、そういう地域猫にえさをやるとか、猫が集まってきて糞害がそこら中に出てしまうという、そういうトラブルはありますね。どちらかというと、そういう猫にえさをやるなという人が多いです。

9. 吉祥寺の環境浄化について

【学 生】

グループワークで話をしましたが、今日の会場付近の治安が少し悪いなと感じています。ホストみたいな人とか歩いていたりしますが、裏道のほうにも、女の子が行きやすいカフェがあるみたいなので、その辺の治安の問題について、何かあったら教えていただきたいです。

【市 長】

歴史的に言うと、この地域は、昔、吉祥寺通り沿いに近鉄百貨店があって、近鉄裏と呼ばれる場所でした。近鉄裏は、要するに風俗店が多くあるような、大ピンクゾーンですね。それが昭和40年代ぐらいです。でも、すぐに住宅に接している場所ですから、地域の皆さんが環境浄化を一生懸命やろうじゃないかということで、いろいろと運動をしてきました。その成果として大分それが減りましたね。

例えば、図書館という施設があると、半径200メートル以内には、風営店ができなくなります。だから吉祥寺図書館ができたことで、その半径200メートル以内はそういう店ができなくなった、ということもあって、だんだんとなくなってきたんですね。そんな意味ではかなり環境浄化が進んできました。

片や、こちらでそういう運動をしていたら逃げていくお店も沢山あって、それで今困っているのが、どちらかというと南口のパークロード沿いが、もっともつとにぎやかになっています。だからその意味では、オール吉祥寺でもう少し環境浄化を進めないといけないと思っています。

やはり皆さんが安心して、特に女性やお子さん、家族連れの方が、安心して来られる町は大切じゃないかなと思います。もちろん飲み屋は否定していませんよ。繁華街としてふさわしい、だれもが安心して来られるような町にしたいなと思っています。

10. 行政区境のまちづくりについて

【学 生】

吉祥寺の駅の南側は、井の頭公園沿いに三鷹市と接しているじゃないですか。まちづくりとか再開発をするにしても、行政区分が違っていると関係自治体との調整が難しいから、なかなか市として進まないのではないかと思います。

【市 長】

おっしゃるとおりです。例えば、井の頭公園の池は吉祥寺だと言っていますが、行政区域については実は三鷹市なんです。町はつながっているので、それぞれが勝手にまちづくりをしたら整合性がとれなくなってくるので、そのために東京都という広域的な行政があって、それを調整しています。

ただ、今どちらかというと地方分権になってきて、都市計画もそれぞれの市で頑張りなさいよとなってきたので、ますます隣同士の関係は不可欠だと思っています。なので今は、行政間の連携をもっと進めていこうという立場で検討しています。

例えば、武蔵野市の都市計画図は、武蔵野市の部分しか色を塗っていない、三鷹市の部分は載っていないので、職員には、まちづくりを考えるときには、周辺の自治体の都市計画図とつなげ

て考えようよと、そうしないと、その地域のポテンシャルがなかなか把握できないぞと言っています。まちづくりは一体的ですね。市境で区切って考えるべき話じゃないと思っています。

【学 生】

横浜市と鎌倉市の線路の境の真上にある大船駅だとか、埼玉県で新座市と志木市の中間点にある東武東上線の志木駅だとか、三鷹駅と同じような例は多々聞いています。そういうのを勘案しないと、まちづくりは進まないんじゃないかなと思った次第です。

【市 長】

吉祥寺も、今言ったとおり、すぐ南側の井の頭に行けば三鷹市なので、吉祥寺圏は三鷹市も含んだ広域な範囲だと思っているんですね。なので、武蔵野市だけではなくて、三鷹市とも連携をしているいろいろなまちづくりをしなければいけないと思っています。まちには連続性がありますので、周辺自治体と今後ともよく調整していきたいと思っています。

11. 緊急車両の通行について

【学 生】

駅の近くの、はなまるうどんがあるところで、多分普段あまり車が通らないところなのか、お店が両側にいっぱいあって、その道路に人が普通に歩いている状態のところ、救急車が通るときに、なかなか人がどかず、通りづらそうなのを1回見たことがあります。道路のほうに人が出られないようにというのはできないんですか。

【市 長】

パークロードか元町ですかね。元町は荷物の搬入者だけが午前中に通れるので、あとは緊急車両はいつでも来られると思いますが、歩行者に開放した道になっていますね。パークロードはバスが入ってきますが、歩行者量が多いので、歩行者の方々に常に両サイドに寄ってもらわないと車は通れません。

もちろん道に余裕があって、車が通る部分と歩行者の部分を分けられればいいのですが、そこまでの余裕がないので、歩車共存型になっていると思います。緊急車両が来たときとかには速やかによけるといえるのは、モラルの問題ですよ。救急車が来たならみんなとかないといけませんよね。

【学 生】

歩行者が、緊急車両が通るという意識をしていない、もう道路だと思っていないのかなと思いました。

【市 長】

通りづらいところ、そういうのがあったらいけませんので、消防署にも今度確認をしてみたいと思います。



▲吉祥寺駅南口パークロードの様子

12. サブカルチャーでの地域活性化について

【学 生】

吉祥寺がサブカルの町というのを言われていて、いろいろなお店とかカフェとかでもサブカルが見られたりして、サブカル企画みたいなのかも、やっているのも聞いたりしたんですけど、そういうのは、市で盛り上げていくようにしているのでしょうか。

【市 長】

市役所は直接やっていませんが、町を元気に活性化していこうという地域の皆さんがいろいろなイベントをやっていますよね。そのイベントに対して、武蔵野市は地域活性化の支援ということで補助金を出したりもしています。

それから最近では、武蔵野市も吉祥寺も、もっと積極的に紹介していこうよということで、観光という切り口で、今いろいろ動いています。観光推進機構を一昨年に立ち上げ、商工会館の1階に事務所がありますけれども、そこでいろいろなイベントを集約してそれを発信しています。

最近では、フィルムコミッションとあって、映画やテレビのロケ地を積極的に紹介しています。今、「あんてるさんの花」という吉祥寺を舞台につくった映画があるんですね。そういう映画をつくるときでも、あそこを利用したらいいですよとかいろいろ紹介をして、映画をつくりやすくしています。そういう映画が全国で上映されれば、その撮影地が吉祥寺ですと、あの撮影地に行ってみたいなということでお客さんがいっぱい来てくれるといいなと思っています。

13. 0123施設のイベントについて

【学 生】

5月に0123はらっぱのイベントにボランティアとして参加させていただきました。そのようなイベントをもっと定期的に多く開催したらよいと思いました。

【市 長】

イベントは5月や秋にも、節目ごとにやっていると思います。ただ、あの施設を皆さんご存知でないかと思うので紹介すると、0123という名前のおり、幼稚園にも保育園にも通っていない親子が対象です。最近、両親と住まないだとか、あるいは地域の人となかなかコミュニケーションがとれていない方は、赤ちゃんが生まれても孤立しがちなんですね。どこにも友達もいなくて相談もできない。そういう人たちを支援しないといけないという発想で0123の施設ができたんです。

だから、日常的には若い親御さんが赤ちゃん連れて沢山来ていて、そこで友達になっていろいろコミュニケーションをとって、そこでは専門の指導員がいますからいろいろな相談にも乗れるということで、なかなか好評ではないかと思っています。

移動動物園などを呼んでイベントを開催するとお金がかかりますので、なかなか毎週のようににはできないかもしれませんが、イベントを開催すると新たな利用者も来やすいですからね。



▲0123はらっぱ

【学 生】

ボランティアの団体に所属していますが、そこからも10名ぐらい出させていただいたのですが、制限があったので、こちらとしてはもう少し多い人数でも参加できたので、ボランティアとして使っていただけたらと思いました。親御さんたちが、アルバイトとして来ていたみたいなので、もうちょっとボランティアスタッフを増やしたりしたらいいと思います。

【市 長】

ぜひ、その0123だけではなくて、いろいろな地域でイベントがあって若い人の力を求めています。いつでも紹介しますので、ぜひ力を貸してください。商店街のお祭りだとかそういうこともいっぱいあるので。そういうところは行かれていないですか。

【学 生】

お祭りのお手伝いに行きました。よくお話をいただいています。ただ時期が重なっているので、全てに参加させていただくとすると大変だったりするんです。

【市 長】

これから夏から秋にかけていろいろなお祭りだとかありますので、ぜひそこにみんなでちょっと力をいただくとありがたいなと思います。

14. 市のイベントの広報手段について

【学 生】

3月に子育て広場の支援者講座に興味があったので参加させてもらったんですが、その参加者がほとんど、子どもを持つ親というよりは、結構ご年配の方が多かったんですが、そういう講座の広報を市役所はどういうふうに行っているんですか。

【市 長】

支援者だから現役のお母さんたちじゃなくてその上の方であったかもしれません。広報については、なかなか市の広報って難しいんですね。基本的には市が月に2回出している市報が、全世帯に配布しますから、皆さんにはそれを見ていただいて情報を得てもらうのが多いですね。あとはホームページだとか個別のチラシ配布だとかポスターだとか、限られていますよね。

【学 生】

市の産婦人科とかにチラシを置いてもらうとか、そういうのをやっていたりはしないんですか。

【市 長】

内容によっては、そういう関係の機関に置かせていただいています。

【学 生】

学生に焦点を当てたいときの広報には、フェイスブックがいいと思います。私はよく活用しているので、市がそういうアカウントを持つことでそれをフォローしていればみんなに知れ渡るので、そういう告知とかがやりやすいのかなと思いました。

【市 長】

学生の皆さんは使っていますか。皆さんより年配の世代はあまり使っていないかもしれないですね。もしやったとしても限定的になってしまいますね。でも、ある程度対象層がわかった段階では効果があるかもしれません。ツイッターもそうですね。去年はツイッターを使っているいろいろ

東日本大震災の情報を、停電の話だとか放射線の量だとか発信しました。

【司会】

一案として、ぜひ検討していただければと思います。

15. 学生が吉祥寺に求めるものについて

【司会】

学生が吉祥寺に住むときに何を求めますかというのを明確にしたいと思います。皆さん、思いついたことを言っていただければなと思います。将来の子育てとかではなく、今学生として住むとしたら何を求めますか。手を挙げなくてもいいですよ。

【学生の発言】

「夜も安心して歩ける治安のよさ」「家賃」「お店が多い」「地域のつながりが欲しい」「交通の利便性」「安い飯屋」「ちょっとおしゃれなお店」「バイトができる」「ひとり暮らしの人が自炊しやすいようなスーパー」「自炊と関連してメニューを教えてくれる」「勧誘が少ない」「災害時に安心できる対応」「イベントが開きやすい会場」「緑が欲しい」「図書館とか大きな公共施設」「公共施設を夜間まで開館」「ひとり暮らしでも何かつながりが持てる」「フェイスブック」「自助・共助・公助による防災対策」

16. ハーモニカ横丁の耐震・防火対策について

【学生】

吉祥寺の北口側のハーモニカ横丁あたりの、店が密集しているあたりは、耐震性、防火性的にどうなっているんですか。ハーモニカ横丁とかのあたりを見ていると少し古い建物とかもやっぱり見受けられます。雰囲気にはいいものを醸し出してはいるとは思いますが、あそこでいざ火事になった場合は延焼がひどいことになるんじゃないかなと思っています。

【市長】

その心配はずっとしておりまして、なかなか建て替えまでには至っていないんですね。ただあの雰囲気がいいよというのが皆さん圧倒的な意見があって、今の状態が続いています。

ただ、いざというときに延焼してはまずいので、大型の消火栓だとか消火器なんかを設けてい



▲ハーモニカ横丁

ます。それから、あそこは商店街が4つ、5つありますが、その皆さんにも自衛消防隊として訓練をしていただいて、いざというときに備えていただいているんですね。おっしゃるとおり、なかなか、防災面では課題の多いところです。

でも、あそこを取っ払って、きれいなビルというとちょっと何か違いますよね。

【学生】

統合できないと言い切れはしないですけど、ちょっと難しいですかね。

【市長】

そこも大きな吉祥寺の今後の課題の1つです。あそこはもう少しお話しをすると、土地の所有はお寺なんですね。その上に、その土地を借りて建物をつくっている人がいます。建物をつくって、それをテナント貸しにしている。そうすると、いろいろな権利関係が複雑に絡んでいますね。その権利もまた貸しをしたりしていて、全体で一緒になってやろうよというまでにはなかなかいかないですね。

17. 夜のまちの治安について

【学生】

私は、吉祥寺の居酒屋での一次会から二次会に移動のときに、用事があってみんなと離れてひとりで遅れて行ったことがあるんですけど、居酒屋から居酒屋までの短い間に何人もキャッチに遭ったので、夜ひとりで歩くときは心配で、電話をずっとかけながら歩いたりしています。特に吉祥寺駅周辺は、夜はあまりひとりでは歩きたくないなと思います。井の頭公園の中も結構怖いなと思うことがあります。

【司会】

ちょっと夜はまだ安心できない部分もあるかなという感じですね。住宅地のほうはどうですか。

【学生】

そうですね。住宅地のほうは比較的安全だとは思っています。街灯も多いですし、犬の散歩をされている方やランニングをされている方も多いので、人が全くゼロになることはなかなかないと思います。ですから、多少は安心して歩けると思います。

【市長】

そういう課題もあって、つきまといをしないでください、というつきまとい防止条例を設けてパトロール隊を設置しました。ブルーキャップという青い帽子をかぶった警備員がパトロールをしています。その方々には夜9時までパトロールをお願いしているのですが、その方々に動いていただいている間はあまりそういうことが表に立ってないんだけど、その方がいなくなったあたりにまたどっと来ている。それが、今なかなか解決できていないですね。



▲ブルーキャップの活動の様子

18. 地域のつながりについて

【司会】

地域のつながりは強いと思いますか。

【学生】

5月にコミセンのボランティアに参加させていただき、その地域付近では強いと思いました。

【市長】

参加されている方のつながりは強いと思いますが、参加されていない方のほうが圧倒的

に多いので、その辺がなかなか難しいですね。

武蔵野市の特徴は、町内会がないんです。完全にないわけじゃないんですけど、あまりないですね。皆さんの出身のところでは町内会があって、密に全部ネットワークを組んでいるところがあるかもしれないけど、武蔵野市にはそれがあまりないんですね。

【学 生】

地域のつながりをつくるために行政ができることはどんなことですか。

【市 長】

何ですかね。何だと思いますか。それは聞きたいな。

【学 生】

例えばイベントがあったとしても、参加される方のほうが少数だとしたら、隣近所とのつながり合いというのは、やっぱり自分で動かなくちゃいけない部分が大きいような気がします。行政の課題としては難しいテーマだなと感じます。

【市 長】

市役所が、隣近所の皆さん仲よくしてくださいと言うのは、それは違うんじゃないかなと思います。それはまさにさっきおっしゃっていた自助・共助ですね。自分たちで何とかする。周辺の地域の皆さん方で何とかするという共助の話までなんでしょうね。

だから公である市役所としては、その小さい範囲でのコミュニティを何とかするのは難しいでしょうね。

【司 会】

じゃあ、学生のつながりが持てるのは、努力次第ですかね。学生マンションに住めばまた違うのかもしれないですね。

【市 長】

学生マンションに住んでしまうと、マンションの周りの人たちとの交流はどうなんですか。

【学 生】

学生マンションで、例えば管理人さんが常にいるところだったとしたら、何かあったときはその人を頼ればいいと決まっていたみたいなんですけど、そうでない限り、ほかの人たちまで、というかそこまでいなくても、隣は友達だしという感じになりました。

【司 会】

じゃあ、そんなに広げようというのはないのかな。今の話を聞いていると、逆に学生のつながりができちゃうと地域のつながりを持たなくなってくるのかなというのも思います。

【市 長】

そうですね。学生だけで交流してそれでよしとすると、地域とのつながりはないかもしれないですね。

【学 生】

学生は4年間とか期間限定しか住まない人だとすると、常に新陳代謝が起こっている状態になる状態で、その地域とのコミュニティは難しい気がします。

【市 長】

最近ちょっと考えているのは、学生のころにいいコミュニケーションができた、いい住まい方

ができたとすれば、たとえその後いろいろなところに行ったとしてもまた戻ってきたいと思いませんか、家族を連れて。そういうまちっていいじゃないですか。

【司 会】

また戻ってきたいまち、いいですね。

【市 長】

若いうちはいろいろなところに行くでしょうし、行ってほしいですね。国内外いろいろなところで活躍してほしいですが、やがて子育てをするなら吉祥寺に戻ろうよ、武蔵野市に行こうよと、そういう思えるまちにぜひしたいと思っています。

(2) 終わりに

【司会】

学生にとって、吉祥寺は、家賃とかは除いて、結構求めているものには近いのかなと思います。私たちはいろいろなつながりを求めていたりもするので、そこを何とかとは言いませんが、こういうのが学生の意思かなと思います。



【市長】

ひとり住まいという学生を想像しますが、必ずしもそうではないんです。武蔵野市の世帯数は7万世帯あるけれども、半分は単身世帯なんですよ。もちろん若い20代の方もいらっしゃいますが、今、どちらかという高齢者のひとり住まいが課題です。その方々こそ、より地域のつながりを持っていろいろ支援しないといけないんじゃないかなと思っています。皆さんは、みずからひとり住まいでも動けるし、フェイスブックをやればいろいろなところとコミュニケーションもできますが、高齢者の皆さんはそういうコミュニケーションツールを持たないわけですから、それは地域で伝えるしかないかなと思っています。

その地域の一員として皆さんから何か力をいただくと、すごいうれしいし、よくなってくるんじゃないかなと思います。若い人が地域をつないでいただくようなことができれば、より一層地域を魅力的にしていくんじゃないかなと思いました。

それからさっきも言いましたけれども、これからずっと住み続けていくというのはまず無理だと思います。今度、皆さんは仕事を持つわけだから、その仕事に応じていろいろなところに行ったり、あるいは住まいも替えざるを得ないと思うけれども、できれば、やがては武蔵野市に戻ってくるぞ、戻ってきたいぞと言ってもらいたいし、そういうふうに言ってもらえるような町にしたいかなと思っています。そのときがいつになるかわかりませんが、戻ってきたら、ぜひ一言声をかけていただければと思います。

皆さんがそういうふうに思えるように、武蔵野市も子育てのしやすい、さっき冒頭に皆さんに言っていたけれども、子育てのしやすい町にしたいし、それから吉祥寺ももっと魅力的な、ここでもキーワードがいっぱい出ました、難しい課題、夜も安心して歩けるだとか、キャッチが少ないかとかね。やっぱり安心して来られる町というのが極めて大切だと私も再認識しましたので、その取り組みは大いに地域の皆さんと力を合わせて頑張っていけたらなと思っています。今日は、ありがとうございました。



2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針

(※アンケートでいただいたご意見も含まれます。また、同じ趣旨のご意見については、一部割愛しています。)

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
1	まちづくり	まちづくりとか再開発をするにしても、行政区分が違えば関係自治体との調整が難しいから、なかなか市として進まないのではないかと思います。	都市計画やまちづくりは、広域的なネットワークとしての連続性や面的な一体性が重要になります。また、計画や事業を検討するにあたり、市独自で実施するより、広域的な連携で実施した方が現実的で、かつ効率的で経済的な場合もあります。 権限移譲により、市の独自性が求められる中、広域的な視点や他区市との連携とのバランスをどうとっていくかが重要になっていると考えます。今後、ますます地方分権が進む中、市独自の計画・事業と広域的に考えるべき計画・事業について、関連自治体と連携を強める必要があるため、適宜協議を進め、お互い調整や協力・協働しあいながら都市計画やまちづくりを推進しています。
2	まちづくり	歩いて楽しい、歩くのがカッコいい、オシャレというまちづくりに価値観を転換するには？	吉祥寺グランドデザインに掲げる中長期の将来像を踏まえるとともに、都市の持続性やユニバーサルデザインへの取組みなどを踏まえたまちづくりをさらに進め、魅力ある商業空間としての吉祥寺と、住みたいまち住んでよかったまちNo.1としての良質な居住環境を維持・向上するため、「安全で歩いて楽しいまち」というコンセプトのもと、「回遊性の充実」と「安全安心の向上」を目指したまちづくりを展開していきます。
3	ハーモニカ横丁	吉祥寺の北口側のハーモニカ横丁のあたりの、店が密集しているあたりは、耐震性、防火性的にどうなっているんですか。ハーモニカ横丁とかのあたりを見ていると少し古い建物とかもやっぱり見受けられます。雰囲気的にはいいものを醸し出してはいるとは思いますが、あそこでいざ火事になった場合は延焼がひどいことになるんじゃないかなと思っています。	ハーモニカ横丁については、古いマーケットの雰囲気をとどめ、最近では新たな店舗も入るなど吉祥寺を代表するスポットである反面、防災上の危険が懸念される地区であると認識しています。 市では、横丁内に大型消火器を設置するとともに、平成23年度には横丁内の商店会を中心とし、ガス・電気・水道についてのインフラ整備について検討がなされ、一定の整備を行っています。
4	救急車両通行	多分普段あまり車が通らないところなのか、お店が両側にいっぱいあって、その道路に人が普通に歩いている状態のところ、救急車が通るときに、なかなか人がどかず、通りづらそうなのを1回見たことがあります。道路のほうに人が出られないようにというのはできないんですか。	元町通り・パークロードは、路線バス・荷さばき・居住者等、一部の車両を除き、終日車両通行禁止の交通規制がかけられております。 緊急車両通行に関しては、消防署に確認し、通りづらい場所等、改善すべき点があれば改善していきます。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
5	自転車	<p>自転車が少し多過ぎて、その自転車の交通マナーが悪く、この前も自転車にひかれそうになりました。そういう町に住むのは、歩いている人にとっては怖いかなと思ってノーを挙げました。道も少し狭いかなとも思います。</p>	<p>「自転車走行は車道の左側が原則、歩道が例外」などの自転車利用のルールやマナーの向上について、平成20年10月から開催している自転車安全利用講習会などを通じて行っており、12,000名を超える方が受講しています。講習会開催以前の平成19年は市内の自転車関与交通事故が335件ありましたが、平成23年では210件となり、40%近く減少しております。今後も講習会などを通じて、自転車利用者へのルールの周知やマナーの向上を図っていきます。</p> <p>幅員が広い、武蔵境駅南口のかえで通りでは、歩行者・自転車・自動車の走行空間を分離した「自転車道」を整備いたしました。しかしながら、本市内にはかえで通りのような十分な幅員を備えた道路が少ないため、このような整備は難しいのが実情です。</p>
6	自転車	<p>店とかの周回も目的とした町内活性化などのまちづくりを図られたというのは評価できるんですけど、そこに自転車という概念が入っていなかったんじゃないかなと思っています。ですから、駐輪場とかも何か後づけで整備されたような感じがしたりだとか、放置自転車に対する策がはじめからあったようには思えません。</p>	<p>自転車放置禁止区域内では、一定規模以上の施設の新築・増築・改築には駐輪場の附置義務があり、小規模な施設についても努力義務で、可能な限り駐輪場を整備していただいております。しかしながら、条例施行以前に建築された建物には設置義務がありませんので、対応に苦慮しているところ です。</p> <p>また、市では駅周辺の民間事業者が整備・運営する公共駐輪場の整備にはその費用の一部を補助しており、約640台の駐輪場を増設いたしました。</p>
7	自転車	<p>放置自転車が置かれているようなところに花壇を置いたらどうかと思います。</p>	<p>道路に花壇を設置することは通行の妨げとなるばかりではなく、花壇と花壇の間の空間に自転車が放置され、その周囲にさらなる放置を呼び込んでしまうことになり、逆に放置自転車がが増えてしまうこととなります。</p> <p>市では、自転車の放置が多い箇所については、放置禁止を呼び掛ける看板だけでなく、駐輪場に誘導するような案内看板を設置し、放置の抑制を呼び掛けていきます。</p>
8	駐輪場	<p>駐輪場が少ないと思っています。4年間通っている間にも新しい駐輪場ができていたのは知っていますが、それでも休日になると駐輪場の前に行列ができて、駐輪場を探す羽目になって町の中をぐるぐる行ってしまうこともある。放置自転車もずっと残っていて、監視員の方がいつもいつも動いている。駐輪場を増やすか、何か認知度を高めるかして何とかならないかなと思います。</p>	<p>平成23年1月に策定した「武蔵野市自転車等総合計画」では、吉祥寺駅周辺の駐輪場整備目標台数を14,100台としており、その整備目標に向かって駐輪場の整備を図っているところであり、平成24年6月現在で12,700台超が整備されています。</p> <p>しかしながら、駐輪場は作れば作るほど、自転車を呼び込んでしまう側面があります。そこで、2時間無料制度を導入し利用の回転率を上げたり、空車になっていることが多い駐輪場への案内看板を設置したりして、既存の駐輪場の効率的な活用も併せて図っていきます。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
9	駐輪場	吉祥寺で何かあるとかちょっと用事があるとか、一時的な駐輪場の利用があります。それと、地元住民の方が駅まで利用してその帰りにまた乗っていくという利用との、差別化を図るべきじゃないかなと思います。	吉祥寺駅周辺でも地域によっては一時利用の駐輪場が満車であることが多い現状から、一時利用の駐輪場を地元住民とそれ以外の方で分けて利用することは、施設の効率的な運用という観点から、現実的には困難であると考えます。
10	駐輪場	限られた空間だとしても、地下空間だとか、あと、吉祥寺大通りの片側2車線の道路の真ん中の縁石の部分だけでも取っ払って、車道の部分を詰めて歩道側を広くすれば、駐輪場を整備する場所ではできると思います。	<p>吉祥寺駅周辺の駐輪場不足を解消するため、道路の地下等を利用した整備を検討してきました。一定の可能性はあるのは、吉祥寺大通り・駅前広場・平和通りの地下部分ではありますが、「自転車等総合計画」では地下以外の方法で整備目標台数を達成できる見込みです。駐輪場を整備するにあたっては、収容規模、方向別需要バランス、費用対効果等様々な問題や市全体の財政状況なども勘案しながら進めてまいります。</p> <p>平成22年4月に吉祥寺大通りの歩道上にあった利用登録駐輪場を閉鎖したところ、当該歩道上だけではなく、その周辺も放置自転車が減少し、本来の歩道の機能を取り戻したところです。幅員を広げたとしても、歩道上に駐輪スペースを設置することは、駐輪スペースの部分だけではなく、その周囲も放置自転車で塞いでしまうことになるため、歩道上に駐輪スペースを確保することは考えていません。</p>
11	戸別収集	私の市では、ごみは地域ごとに一定の場所に出しているんですが、武蔵野市は家の前に緑の袋を出している。1か所にまとめるのと自宅前に出すのは、どういう理由からの違いでしょうか。	ステーション方式では、ごみを分別していなかったり、ルール違反のごみがあっても、誰が出したのか判らないため、そのステーションを管理している方や当番の方が後始末をするケースがありました。戸別収集にすることで、排出者が限定されますので、ルール違反をする人が特定しやすくなり、個別指導が可能になりました。また、ステーション自体がなくなることで、通勤途上の通行人によるステーションへの不法投棄も、少なくなるため平成16年度に戸別収集方式としました。
12	戸別収集	ごみ収集車が回収場所を指定すれば、回る数や移動距離が減ると思うので、エコ的な考えでいけばどっちのほうがいいのかなと思っています。	ご意見のとおり、ステーション方式の方が収集効率は高くなると考えられます。しかし全市的な①ごみの排出者の明確化、②ごみステーションへの不法投棄の減少、等の意義が優先するものと考えられ、戸別収集としました。
13	戸別収集	朝まちを歩いていてごみ袋が家の前にいっぱいあるのが、きれいじゃないなと思っていた。ごみ収集所だったら収集所だと思うけれど、吉祥寺の町中を、朝、ごみをいっぱい見ながら歩くのは少し嫌だなと思っています。	本市は、ごみの排出者の明確化、ごみステーションへの不法投棄の減少等の意義により、ステーション方式から戸別収集へとごみの収集方式を変えています。なお、朝の時間帯にごみが目立つ印象があるとのことですが、本市では通学・通勤のピークの時間帯を避ける意味で、午前9時より収集を開始しておりますので、そのようなお感じになるのかもしれません。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
14	ごみ	市でごみ袋を決めるなら、無料で配布してほしいと思います。	ごみを出す量に応じて手数料を負担していただくことで、各家庭でごみに対する意識が向上し、ごみを減らす工夫をしていただくなど、ごみの減量につながるものと考えられること、また、ごみの減量に努力し、ごみを少なく出している市民と、関心がなくごみを多く出している市民が、同じ扱いになるのではなく、ごみを出す市民がその量に応じて、費用を負担することで、負担の公平化を図るという意図のもとに有料化をしています。
15	ごみ	生ごみも燃えるごみで有料ごみなので、袋にたまってから捨てたいのですが、ひとり暮らしだと小さい袋でも1～2週間ごみがたまらなくて、夏だと生ごみに虫がわくので、普通の袋で生ごみが出せたらと思っています。	家庭から出る燃やせるごみの約4割が生ごみですので、生ごみを有料化の対象からはずす考えは今のところありません。夏場の生ごみの問題については、水切りの徹底等、各自・各家庭での対応についてご協力をお願いします。
16	ごみ	その(コンポスト化して)集まった肥料を、全部自宅のプランターで使うことばかりできると思えないので、例えば、このあたりですと練馬区の大泉の北の都民農園のセコニックだとか、そういうところを買わせるというか、そういうようなシステムを整備することはできませんか。	市内の大規模事業所から排出される一定量の生ごみについては、すでに広域に処理され資源化しています。家庭から出る生ごみ資源化については、費用対効果、広域処理の必要性等の課題があり、今後研究していきます。
17	子育て世代支援	武蔵野市で、若い人達の子育てをしやすいための対策はありますか。	乳幼児親子が気軽に立ち寄れる「0123施設」や「おもちゃのぐるりん」などのひろば事業のほか、身近にあるコミュニティセンターや公園、保育園や幼稚園でも子育て家庭が集うひろばや講座などを実施しています。また、市内の様々な子ども・子育てに関する情報をまとめて掲載した情報誌「すくすく」を毎年度作成し、子育て家庭に配布しています。一方、経済的な支援としては、中学校修了前の児童を対象とした児童手当(国制度)や医療費助成(都制度+市独自に所得制限を撤廃、保険診療自己負担額無料)、幼稚園・幼稚園類似施設・無認可幼児施設・幼児教育施設に保育料等を納入した満3～5歳児の保護者に対し、所得に応じた補助金を交付しています。 今後も、第五期長期計画に基づき、子ども自身の育ちと子育て家庭への総合的支援を推進し、身近な子ども関係施設で子育て家庭を継続的にサポートする仕組みや、地域の企業、事業者など地域全体で子育て家庭を支えていく仕組みについて検討を進めていきます。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
18	0123イベント	<p>5月に0123はらっぱのイベントにボランティアとして参加させてもらいました。そのようなイベントをもっと定期的に多く開催したらよいと思いました。</p> <p>親御さんたちは、アルバイトとして来ていたみたいなので、もうちょっとボランティアスタッフを増やしたりしたらいいと思います。</p>	<p>子どもたちの豊かな育ちと親の子育てを支援するため、0123施設では、ひろば事業、つどい事業、相談事業、情報提供事業、地域交流事業等の様々な事業を行っています。これらの事業の中で、日々の小さなイベントから年に数回の大きなイベントまで、数多くのイベントを実施しているところです。</p> <p>アルバイトとボランティアについては、事前に登録をしていただき、通常時の業務やイベントの際にご協力をお願いしています。ボランティアの方をお願いする仕事と、アルバイトに勤務として任せている業務はすみ分けており、アルバイトの方には一定の責任がある業務を担当していただき、勤務時間も長く設定されています。今後も、0123施設の運営にあたっては、多くの地域のボランティアの方のご協力を得ながら進めていきたいと考えています。</p>
19	待機児童対策と男女共同参画	<p>2人目、3人目の子供を産むことを考えたとしても、待機児童の解消とその母親世代の就労が大切になってくるだろうなと思っています。</p>	<p>平成24年4月の待機児童は120名であり、年々上昇傾向にあります。待機児童対策として、平成23年5月にUR賃貸物件を活用し、緑町、桜堤に定員各10名のグループ保育室を開設、24年4月にも桜堤に1施設のグループ保育室を開設しました。</p> <p>今後につきましては、平成25年度には境こども園を開設(定員107名のうち長時間保育61名)、北町保育園の移転改築により定員増(定員96名⇒128名)となる。また、JR高架下を利用した保育施設の検討も行っております。</p> <p>また、第二次男女共同参画計画を策定し、男女がともに仕事と家庭、地域生活の調和を図ることのできる環境の整備に努めています。</p>
20	治安	<p>今日の会場(吉祥寺シアター)付近の治安が少し悪いなと感じています。ホストみたいな人とか歩いていたりしますが、裏道のほうにも、女の子が行きやすいカフェがあるみたいなので、その辺の治安の問題について、何かあったら教えていただきたいです。</p>	<p>ブルーキャップや市民安全パトロール隊のほか、駅周辺に防犯カメラを設置し、そのモニターを吉祥寺駅東口交番に置いています。今後も引き続き安全・安心なまちづくりに努めてまいります。</p>
21	治安	<p>吉祥寺駅周辺は、夜はあまりひとりでは歩きたくないなと思います。井の頭公園の中も結構怖いと思うことがあります。</p>	<p>現在は、平日21時までブルーキャップによる夜間パトロールを実施しております。21時以降の時間帯について、警察によるパトロールや、取り締まり強化を要請してまいります。井の頭公園の管理者である東京都、行政区の三鷹市へも市からご意見を伝え、連携してまいります。</p> <p>また、ヨドバシカメラ東側地区と南口パークロードに防犯カメラ合計14台を設置して24時間稼働させ、犯罪抑止に努めています。なお、ヨドバシカメラ東側地区の防犯カメラについては、東口交番でモニタリングを実施しています。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
22	地域猫	吉祥寺の住宅地のほうは、猫が結構います。飼い猫もいますし、野良猫も時々来たりしますね。	<p>市内には犬の飼育数をはるかに超える数の猫が飼われていると推測されます。猫を好きな方、苦手と感じる方がいらっしゃるし、飼い猫と野良猫がいます。飼い猫については、屋内飼育・身元の表示・不妊去勢手術等飼い方のマナーを守って飼うよう啓発を行っています。</p> <p>野良猫については、「むさしの地域猫の会」と協働で、不妊・去勢手術費用の助成・責任のある餌やり・餌場の清掃・譲渡会開催等を行い、猫によるトラブルをなくし、人と猫が快適に共生できるまちづくりを目標に活動を行っています。</p>
23	地域のつながり	地域のつながりをつくるために行政ができることはどんなことですか。	<p>市にできることは、市民が対話を通して醸成した地域のつながりを共有するためのサポートだと考えています。主権者である市民が、自らの生活地域について、自ら考え、主体的に行動し、その行動や選択に責任を負う市民自治の原則を推進するため、必要な支援を行っていきます。</p>
24	サブカル	吉祥寺がサブカルの町というのを言われていて、いろいろなお店とかカフェとかでもサブカルが見られたりして、サブカルの企画みたいなのとかも、やっているのも聞いたりしたんですけど、そういうのは、市で盛り上げていくようにしているのでしょうか。	<p>街でさまざまに行われているイベントに対して、市は地域活性化の支援ということで補助金を支出しているものがあります。毎年春・秋に実施する吉祥寺ウェルカムキャンペーンの中のイベントには、アニメの産業集積のうちの一つであることを活かした活性化策として、毎年9月末～10月初めに行われている吉祥寺アニメワンダーランドがあります。</p> <p>また、武蔵野市について積極的に紹介をしていくことを目的として、平成22年に武蔵野市観光推進機構を立ち上げ、まちのイベントや魅力についての情報を収集して発信しています。合わせてフィルムコミッション事業として積極的にロケ地を紹介しており、映画を作りやすい環境づくりをすることで支援をしています。</p>
25	フェイスブック	学生に焦点を当てたいときの広報には、フェイスブックがいいと思います。私はよく活用しているので、市がそういうアカウントを持つことでそれをフォローしていればみんなに知れ渡るので、そういう告知とかがやりやすいのかなと思いました。	<p>市政に関する情報は現在、多くの市民に届くよう、市報、ホームページ、FMラジオ、ケーブルテレビ、チラシ、ポスターなど多様な媒体を活用して提供しています。また、東日本大震災の際には、緊急情報をツイッターで提供するなど一部SNSの利用も行っています。今後も効果や課題・対象者などを精査しながら、フェイスブックなど新たなメディアを活用したサービスについても研究していきます。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
26	広報	<p>3月に子育て広場の支援者講座に興味があったので参加させてもらったんですが、その参加者がほとんど、子供を持つ親というよりは、結構ご年配の方が多かったんですが、そういう講座の広報を市役所はどういうふうに行っているんですか。</p>	<p>市の全体的な広報としては、月2回発行の市報のほか、ホームページで情報提供しています。その他、各課でチラシを作成し、公共施設などで配布したり、市内の広報掲示板にポスターを貼るなどの広報を行うこともあります。</p> <p>なお、参加された講座については子育てひろば支援者を養成する講座のため、対象者は市内在住・在勤・在学の18歳以上で全回参加可能な方となっており、子育て中の親に限って募集したものではありません。</p>
27	広報	<p>私たちは色々不満を持っていても、何故その不満が生まれることを(例 有料ゴミ袋)やっているのかというのには、きちんと意味があることばかりなんだなと思いました。それならば、そのことを説明する場がもっとあっても良いのではと思いました。</p>	<p>月2回発行の市報の1面や特集面、また、不定期に発行している特集号などで、背景や課題などを含めた事業の詳細をお知らせしています。また、市の施策や事業、行事などの経緯・背景・問題点などを掘り下げて紹介する「季刊むさしの」を年4回(3月、6月、9月、12月の月末ごろ)発行し、市内各施設で配布しています。</p>

3. アンケートでいただいた感想

(※アンケートの自由回答欄でいただいた感想のうち、主なものを掲載しています)

1	たまたま市の広報で見て、興味がわいて来てみました。思ったよりも参加者が活発に発言し、また相応のレベルの高さを持っていると感心しました。何かの機会があればまた参加してみたいと思います。
2	市長と直接話せるので、もっと突っ込んだ質問や(学生からの)相談、悩みを聞きたかった。
3	街の持つ特徴はある人にとってはメリットでも、ある人にとってはデメリットになってしまうこともあるなど思いました。学生のつながりは本人のやる気次第でもあると思いました。
4	市長のお人柄も感じられ、とても有意義な時間となりました。同世代の方々とお話することで、刺激となり武蔵野市を少し好きになったと思います。
5	参加し易さ、発言し易さは○。落ち着いて発言できる雰囲気、環境も良かった。ただ、市長の対応が難しい場合が多いと思うが、明確な答えを持ち合わせてないのも多少ある気はした。
6	少数人数でじっくり話をしていることが新鮮でした。
7	大変雰囲気は良かった。市長さんも質問に明確に答えて下さり良かった。

* アンケートは、傍聴の方も含みます。

テーマ別

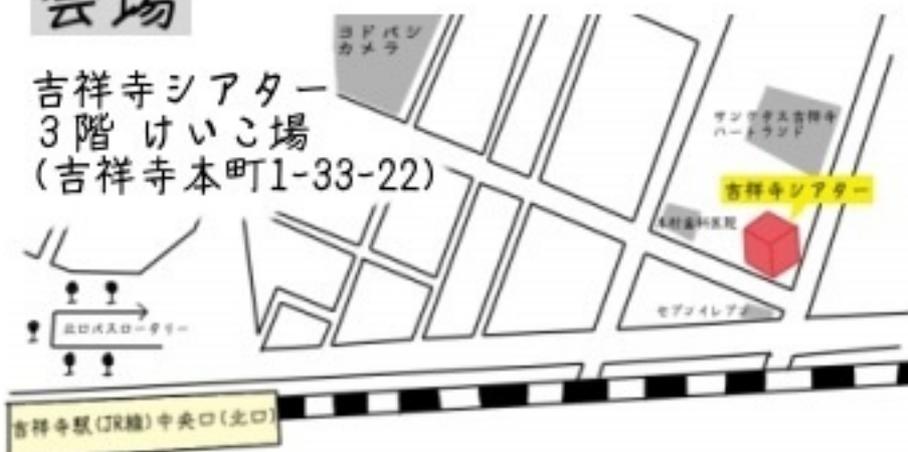
第44回 市民と市長の タウンミーティング

開催日時

6月29日(金)
18:30~20:30

会場

吉祥寺シアター
3階 けいこ場
(吉祥寺本町1-33-22)



テーマ

『住みたいまち No.1 吉祥寺』

- 学生のあなたは住みたいですか? -

申込不要です。当日直接会場へお越し下さい。お車でのご来場はご遠慮下さい。
今回のタウンミーティングは学生と市長が意見交換を行います。

内容

今回のタウンミーティングは学生の企画・運営によるもので、吉祥寺近隣に在住在学の学生の方たちと市長が吉祥寺のまちづくりについて意見交換を行います!

主催

武蔵野市

問い合わせ

武蔵野市役所市民協働推進課(西棟7階)
TEL0422-60-1829 FAX0422-51-2000



第44回 市民と市長のタウンミーティング 『住みたいまち No. 1 吉祥寺』

吉祥寺に/の/って…

あつたらいいなと思う施設は？

家賃高くない？

地域活動って？

バリアフリーの観点では
どうだろう？

治安は？

夫婦共働きでも大丈夫？

公共施設の充実度は？

夜道暗くない？

足りないものはあるかな？

改善してほしいところは？

放置自転車多くない？

駐輪代高くない？

福祉制度はどうなってるの？

*18:30~19:00は、学生の方のみでグループワークを行います。

当日参加できない方で、上記のことについて、市長にご意見・ご要望のある方は、
下記枠内にお書きになり、市役所（7階）市民協働推進課、または各市政センターに
お届けいただくか、FAXで市民協働推進課（0422-51-2000）にお送りください。

第44回

テーマ別
市民と市長のタウンミーティング

報告書

発行 平成24年9月

武蔵野市 企画政策室 市民協働推進課

武蔵野市緑町2丁目2番28号

電話(0422)60-1829 (直通)